

平成29年度 第3回小平市子ども・子育て審議会 会議要録

と き：平成30年1月24日（水）午後1時30分から2時00分まで

ところ：小平市役所 6階大会議室A

1. 出席者等

子ども・子育て審議会委員・・・・・・14人（欠席2人）

傍聴者・・・・・・・・・・0人

2. 配付資料

資料① 小平市立十小学童クラブ第二 施設等の概要

資料② 小平市の放課後子ども教室推進事業の概要

資料③ 第3回子ども・子育て審議会 施設見学予定表

子育てガイド、子育て相談ガイドブック

3. 内容

議事

（1）学童クラブについて

（2）放課後子ども教室について

（3）その他について

4. 上記内容についての意見・質疑応答

（1）学童クラブについて

委 員 十小の学童クラブ第一と第三はどこにあるのだろうか。

事務局 第一は校内の体育館に併設されており、第三は学校の隣接地にある。

会 長 それでは、学童クラブについては、ご了承いただいたものとする。

（2）放課後子ども教室について

委 員 コーディネーターは実施校区に1名とあるが、人数の上限はあるのだろうか。

事務局 小平市では実施校区に1名の配置としている。

委 員 コーディネーター1名への負担が重くならないよう、増やすことは可能か。

事務局 コーディネーターの配置は1名であるが、教室の運営をサポートする方に対しては、教育活動サポーターとして謝礼を支払うことが可能である。

- 委員
事務局 五中では放課後子ども教室が実施されていないが、実施予定はあるか。
中学校の放課後子ども教室では、学習に特化した「放課後学習教室」を実施している。放課後子ども教室未実施の中学校3校においては、今年度から「学校支援ボランティア」の事業により「放課後学習教室」を実施しており、事業の財源は異なるが、市内の公立中学校8校全校で放課後の学習支援を行っている。
- 委員
事務局 十小全体では、どれくらいの登録率か。
昨年度実績としては約37%の登録率である。市内の公立小学校全体としては5割弱であり、学校によって登録率はさまざまである。
- 委員
事務局 放課後子ども教室の内容や実施回数に制限はあるのか。
公が行う教育事業としてふさわしい内容であれば、文化的内容、スポーツ、工作などさまざまな内容で実施できる。年間249日以内の実施日数であれば、1日に複数の教室を開催することもでき、年間の計画に基づき予算の範囲内で実施できる。
- 委員
事務局 それぞれの教室間で情報のシェアや連携などはあるか。
各教室の間での調整はコーディネーターが行っているが、各教室の代表者が加わる会議の場を設けている校区もある。
- 委員 最近子どもたちが公園など外で遊ぶときに、なかなか自由には遊べないこともある。放課後子ども教室は放課後を自由に安全に過ごせる環境と新たな体験の場を提供してくれている。一方で、教室運営の協力者への負担が重く、長い間協力してくれてきた人を引き継ぐ人がなかなか増えていない。事業開始からしばらく経ち安定した運営がされているため、新たに入学する保護者にとっては学校に付随しているサービスという認識が強くなり、自らボランティアとして協力するという意識が薄くなっていると感じる。事業の立ち上げから協力してくれた保護者は、子どもが卒業した後も協力してくれており、新たに入学した保護者も協力してくれるという流れができたらいと思う。
- 会長 市としても放課後子ども教室の趣旨を保護者に伝えて協力を呼び掛けてほしい。また教室運営の担い手への手当も充実させながら、事業内容を充実させてほしい。
放課後児童クラブと放課後子ども教室が同一のように捉えられることがあるため、改めて違いを補足したい。放課後児童クラブは厚生労働省所管の児童福祉法に基づいた事業であり、保護者が昼間に仕事等で家庭にいない放課後児童向

けの保育所の働きをしている。放課後子ども教室は文部科学省所管で、放課後等に教育を行う事業である。2つの事業は基にある法律や事業内容が異なるためひとまとめには捉えられず、学童期の健全育成につながる事業としてそれぞれを認識してほしい。

以上で、放課後子ども教室についてはご了承いただけたものとする。

(3) その他

特になし